

2011 アートマイル 報告書

日本学校名[木津南中学校] 担当教諭名[宮原 麻美] (美術部20名)
 交流相手国[台湾]
 海外学校名[Ruei-fong JHS] 担当教諭名[Susan Kuo]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	部活動		

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	絆-Ties That Bind
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	日本には「赤い糸」の伝説があり、中国には「赤い綱」の伝説があることが調べ学習でわかりました。それではと、新しい「虹色の友情のロープ」のお話を作ってみました。台湾の女の子と日本の男の子はそれぞれの国旗に乗り、星型の虹色のロープを持って宇宙空間にぼかりと浮かんでいます。バックの二色は昼と夜を表しています。円形の中に描かれたのは、生徒たちが「絆」という言葉からイメージしたシーンです。家族や友だち、結婚式等々が夢いっぱいに描かれています。カラフルな星たちもみんなのお気に入りです。

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
アートマイルの参加も三年目になり、生徒たちも見通しを持って制作に取り組む事ができました。今年度は相手校が早々に決まり日程も余裕をもって取り組みました。今年度の美術部は過年度に比べて人数も少なかったのですが、かえってその方が生徒たちの自主性が高まり、役割分担をしてしっかり取り組めたように思います。また、経験を積んだ3年生が、下級生に「アートマイルのツボ講座」を開き、取り組む時の注意点やメンタル面のアドバイスをしてくれました。個性的な生徒が多い反面、交流が難しい部なのですが、部内の生徒たちの絆はとても深まりました。相手校がYou-Tubeの公開限定で自己紹介をアップしてくれたので、こちらも同様にする経験ができてよかったと思います。	相手校は英語クラブという事で、フォーラムに個々の生徒の自己紹介や震災についての調べ学習の成果等を送ってくださったのですが、新設校のためコンピュータ室の使用が思うようにできず、また情報規制にフォーラムがひっかかったのかフォーラム自体が見られなくなってしまい不便を感じました(途中から改善され、助かりました)。台湾の学校の方が電子黒板等設備も充実していると思いました。もっと頻繁に生徒たち同士の交流ができれば、また親密度も高まったのではないかと思います。テレビ会議は双方が希望しながらも日程がなかなか合わず苦労しましたが、いよいよ5月19日に行う予定です。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
校内で、取り組みの様子や金沢21世紀美術館展示の様子を壁新聞にして展示。学習発表会で美術部展示会場に制作過程の写真、iEARN 台湾での写真等を展示。完成した壁画作品を入学式の日校内に展示しました。	完成した壁画を興味深く見てもらうことができました。できればテレビ会議を地元の新聞社に取材してもらうように声をかけたいと思います。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月 ～ 9月	前年度のパキスタンとの壁画を全員で鑑賞。担当教師が iEARN 台湾で知り合った相手校の事を紹介した。	アートマイルに参加したいかどうかのアンケートには、全員が参加を希望した。	
情報収集	10月	図書館やインターネットを使った調べ学習を行った。	生徒たちもテーマの「絆」を意識して、調べ学習を行っていた(「赤い糸・綱の伝説」)。	
テーマ検討	11月	マインドマップや付せんなどを使って、班ごとに描きたい内容を絞っていった。	一人ひとりの意見を班の生徒全員が見ることができ、意見をまとめるのに役立った。	
制作	12月	下絵の拡大や転写は今までの経験で、段取りよく進める事ができた。 生徒たちがやりたい表現方法を尊重した。UPSで発送する期日が決まっていたので、忙しかったが早く仕上がった。	休日もほとんど全員の生徒が休まず制作に関われた。	
鑑賞	4月	入学式前日に校内に展示した。部内でのきちんとした鑑賞会は来週の予定である。	壁画の完成作品を見て、とても嬉しそうであった。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価 (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解		5・4・③・2・1	異文化理解の方にウエイトがかかり、あまり自国の文化理解に時間を使えなかった。
異文化の理解		5・4・③・2・1	教師の写真や話を参考にしたが、相手国の文化は日本とよく似ているようで違いもあり、実感するのはまだまだ難しかったようだ。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)		5・④・3・2・1	個人の能力差はあるが、意欲的に取り組んでいた。
情報活用能力(情報収集・発信)		5・④・3・2・1	図書館やインターネットを使っの調べ学習は慣れてきてスムーズだった。You-Tubeを使って自己紹介を行った。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)		5・④・3・2・1	美術部内では、テーマ検討や制作を通してお互いを知り合う機会となった。交流相手とはそこまできなかつた。
協働する力(役割分担・協力)		⑤・4・3・2・1	教師の指示がなくても、役割分担を決め、協力して制作に取り組めた。
学習を追究する意欲		5・4・③・2・1	相手からの情報(フォーラム、eメール等)がもっとスムーズに伝われば、意欲ももっと上がったのではないか。
表現力(伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	デザインや描画、彩色方法など、工夫しながらていねいに表現できたと思う。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	鑑賞会はまだまだが、例年通り生徒たちの率直な視点から、完成壁画からのいろいろな学びがあると思う。